

記者発表資料

平成20年11月18日

【横浜市担当部署】 都市整備局神奈川東部方面線担当課長

佐藤 正治 TEL 671-2716

【整備主体】 (独)鉄道・運輸機構東京支社総務課長

福田 洋 TEL 03-5403-8780

【営業主】 相模鉄道(株)業務推進室広報担当

山田、高木 TEL 319-2057

東京急行電鉄(株)秘書・広報部広報担当

新堀、矢澤 TEL 03-3477-6086

事業説明会を実施します！

都市鉄道利便増進事業 **相鉄・東急直通線**

【神奈川東部方面線（羽沢駅（仮称）～日吉駅間）】

相鉄・東急直通線（神奈川東部方面線「羽沢駅（仮称）～日吉駅間」）につきましては、地質調査や概略設計などの基礎調査を進めてきましたが、このたび、基本的なルート・構造などの計画案がまとまりましたので、その概要について次のとおり、地域の方々に事業者がご説明いたします。（別紙参照）

開催日	時間	場所
平成20年11月27日（木）	19:00～20:30	羽沢小学校体育館
平成20年11月28日（金）	19:00～20:30	日吉台中学校体育館
平成20年11月29日（土）	14:00～15:30	綱島東小学校体育館
平成20年12月2日（火）	19:00～20:30	大綱中学校体育館
平成20年12月3日（水）	19:00～20:30	横浜ラポール ラポールシアター

※取材の方は、直接、会場受付までお越し下さい。

計画概要図



※ 事業概要、経緯等については裏面に載せてあります。

【参考】

1 事業概要

「相鉄・東急直通線」は、神奈川東部方面線の機能の一部として、相鉄・JR直通線の羽沢駅（仮称）から新横浜を經由し、東急東横線・目黒線日吉駅までの区間に連絡線を整備するものです。

この連絡線の整備により、相鉄線と東急線との相互直通運転が可能となり、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化が図られるとともに、速達性の向上、新幹線アクセスの向上、JR東海道線等の既設路線の混雑緩和や乗換回数の減少、沿線地域の活性化等に寄与します。

		相鉄・JR直通線	相鉄・東急直通線
事業主体	整備主体	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
	営業主体	相模鉄道株式会社	相模鉄道株式会社 東京急行電鉄株式会社
整備区間		相鉄本線西谷駅～ JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近	JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近 ～東急東横線・目黒線日吉駅
延長		約2.7km	約10.0km
事業費		約683億円	約1,957億円
事業予定期間		平成18年11月～ 平成27年3月	平成19年4月～ 平成31年3月
運行区間		海老名駅・湘南台駅～西谷駅～ 羽沢駅（仮称）～新宿方面	海老名駅・湘南台駅～西谷駅～ 羽沢駅（仮称）～新横浜駅（仮称） ～新綱島駅（仮称）～日吉駅 ～渋谷方面・目黒方面
運行頻度		朝ラッシュ時間帯：4本/時程度 その他の時間帯： 2～3本/時程度	朝ラッシュ時間帯： 10～14本/時程度 その他の時間帯： 4～6本/時程度

2 「相鉄・東急直通線」の経緯等

平成12年1月 運輸政策審議会答申第18号にて、神奈川東部方面線が答申される。

平成17年8月 都市鉄道等利便増進法が施行される。

平成18年6月 都市鉄道等利便増進法に基づく営業構想・整備構想の認定を国土交通大臣より受ける。

平成19年4月 都市鉄道等利便増進法に基づく速達性向上計画の認定を国土交通大臣より受ける。

平成31年4月 開業予定

<参考> 「相鉄・JR直通線」

相鉄・JR直通線は、相鉄線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近までの区間に連絡線を整備し、相鉄線とJR線との相互直通運転を行うもので、平成27年4月の開業を目指しています。

昨年、10月に地域のみなさまを対象に事業説明会を実施し、現在は、環境影響評価、都市計画決定の手続きを進めています。

問い合わせ先

本件に関するお問い合わせについては、下記の事業者等にお問い合わせいたします。

※計画全般について 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構東京支社 TEL:03-5403-8780

※運行計画について 相模鉄道株式会社業務推進室 TEL:319-2057

東京急行電鉄株式会社秘書・広報部 TEL:03-3477-6086

※その他 横浜市都市整備局鉄道事業課 TEL:671-2716